

## KaVo水消毒システム きれいな水

過酸化水素水を使用した「常時水消毒システム」と「集中水消毒システム」の2つの水消毒システムにより水路管内を衛生的に保ちます。

### 常時水消毒システム

インスツルメントと  
スピットンに通じる水路管に  
低濃度の過酸化水素水を使用

### 集中水消毒システム

高濃度の過酸化水素水を  
水路管に充填させて  
30分間漬け置き洗浄を実施



KaVo 水消毒システム

#### 集中消毒の実施タイミング

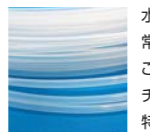
- 休院時
- 免疫力の低下した患者さんの診療を行う前
- 肝炎等のハイリスクのある患者さんの診療の後

## オキシゲナル6

濃度6%の過酸化水素を  
含む溶液



デカセプトルゲルとオキシゲナル6が  
ビルトインされ、ボタン1つで集中  
水消毒システムとハイドロクリーン  
機能(排水管の自動洗浄)が作動します。  
(機種により異なります)



水路管は行き止まりがないように設計され  
常に流動的で、滞留して不衛生な状態になる  
ことを防止しています。  
チューブは、バイオフィルムの形成を抑える  
特別な材質を使用しています。

## デカセプトルゲル

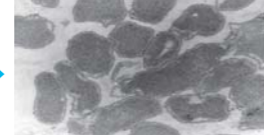
ココナッツより抽出した  
グルコプロタミンで  
サクシオン機器やスピットン  
の除菌・脱臭・防カビに  
効果的



#### ■ 雑菌に対する効果 (顕微鏡写真)



デカセプトルゲル使用前の細胞



デカセプトルゲル添加後、数分で  
細胞膜が破壊されていきます。



破壊された細胞はリンスによって  
洗い流されます。

## KaVoユニット・ハンドピースお手入れ講習会 各ショールームにて実施中

～簡単・確実なお手入れの豆知識で、患者さんにより良い治療と安心を～

歯科医療機器をよく知り、適切なお手入れをすることで高い衛生と、機械本来の優れた性能を得ることができます。痛みが少なく快適で、患者さんに負担をかけない治療や精度の高い治療をいつでも行うことができます。また、トラブルを防いで製品の耐久性が高まることなど、より高いコストパフォーマンスを得られます。



講習会のスケジュールは、弊社ホームページまたは営業担当にお尋ねください。

# 患者さんにも スタッフにも安全な 衛生管理



歯科衛生士 熊本 宏美

日本歯周病学会認定歯科衛生士  
PEC常任講師

- 1995年 兵庫県立総合衛生学院歯科衛生士学科卒業
- 2003年 はらだ歯科医院
- 2005年 Hu-Friedy Japan
- 2014年 小林歯科医院

## 小林歯科医院

大阪市東住吉区中野4丁目12番16号2階  
TEL: 06-6777-3056  
URL: <http://www.k-dentaloffice.net/>

院長 小林 将之



KaVo. Dental Excellence.

## カボ デンタル システムズ ジャパン株式会社

東京本社 ● 〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 Tel:03-6866-7480 Fax:03-6866-7481  
大阪本社 ● 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 4-5-2 Tel:06-7711-0450 Fax:06-7711-0451  
札幌営業所 ● Tel:011-716-4694 Fax:011-716-4692 ・ 仙台営業所 ● Tel:022-772-7375 Fax:022-772-7376  
名古屋営業所 ● Tel:052-238-1146 Fax:052-238-1567 ・ 福岡営業所 ● Tel:092-441-4516 Fax:092-472-1844

<http://www.kavo.jp>

VECPBF1409V1 EQU-045

※掲載されている写真にはオプションが搭載されている場合があります。  
※製品の仕様等は改良のため断りなく変更になる場合がございますのでご了承ください。



KaVo. Dental Excellence.

# 日常の清掃でグローバルスタンダードを容易に実現

小林歯科医院 歯科衛生士 熊本 宏美さん

2014年3月18日に私が勤務する小林歯科医院が開業しました。昨今、マスコミなどで歯科医院の治療や滅菌の質を問われる最中の開院ということもあり、グローバルスタンダードをコンセプトにした医院をめざし、ユニット3台のうち1台はE70、残り2台はE50を導入しています。

開業当初は、ユニットやレントゲン機器、消毒機器の操作やメンテナンス方法を各メーカーさんに伺ったり、院内のシステムを作ったりと大変な作業が続きました。開業して1か月ほど経った時、KaVoからユニットのお手入れ講習会に招待をいただき参加してきました。そこでは、開院時に伺ったお手入れ方法の「なぜ?」を詳しく、薬剤の説明や手入れのタイミングといったことまで教えていただき、疑問点を解消でき、また理解を深めることができました。



## ■ スタッフが気になるユニットのサククション周りスピットン周りの清掃

これまでの経験で、排水経路のフィルターに黒カビが付いてしまったり、ホースの内側に汚れがこびりついてしまったりしたことがありました。KaVoのお手入れ講習会では、フィルターの清掃はデカセプトルゲルの溶液に毎日一晩浸けておくことを教わりました。また、ホースの内側の清掃も、同じデカセプトルゲルの毎日の使用と週一回同じ作業を2回繰り返すことで清潔に保つことを教わりました。デカセプトルゲルは天然成分の消毒剤なので、汚水に流しても安心です。

## ■ 容易に取り外せるフィルターと取り外し可能なスピットンパーツ



取り外し可能な排水やスピットンフィルターを少量の流水下で洗浄します。汚染された水滴が飛ばないように蛇口から出す水の量に気をつけたり、歯ブラシなどで極力こすったりしないように配慮します。その後、デカセプトルゲル溶液に一晩浸します。

また、スピットン周りは鉢が取り外せるので、同じく毎日の磨き作業と週一回の取はずしての清掃作業をすることで、うがい時のこぼれた鉢の外側もきれいに磨くことができます。

## ■ スピットン底部の拭き掃除と鉢の洗浄



スピットン周りの鉢は半回転させると外れます。

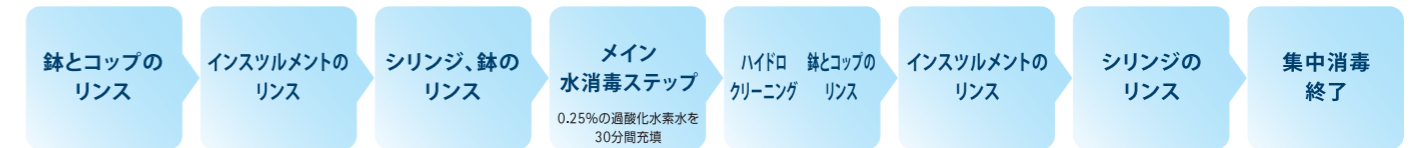
シンクで鉢を丸ごと洗えるのでうがいの時にこぼれ滴ったところも磨けます。

ユニット側の鉢との接合部もティッシュなどで拭き取る事が出来ます。

## ■ グローバルスタンダード

ドイツ製 KaVoのユニットを知っていく中で、スリーウェイシリンジやモーター、タービンホース内の水経路の汚染に配慮されていたり、うがい時の水に消毒剤を入れておく等の汚染リスクに配慮されていることに気づきました。日本にはないヨーロッパの厳しい基準に対応されていて、患者さんに安心して受診していただくことを目指した当医院のコンセプトとぴったり合っていました。ホースの水経路の消毒やうがい時に使用する消毒は、オキシゲナル6という過酸化水素水を指定の希釈倍率へ自動調節してくれます(常時水消毒)。特にホースの水経路は週末に行う集中消毒のプログラムがあり、水の動きが止まってしまう週末のユニットの水経路の汚染リスクのタイミングに消毒されるという逆転の作業を行うことが出来るので、驚きました。

## ■ 集中水消毒のステップ



※集中水消毒は全行程60分ですが、休院前にセットし、休院明けに約20分でプロセスを終了できます。

## ■ 院内システムの構築

院内のシステムを構築していく中の一つに週一回のチェックリストを作成しました。目的は、定期的な機械のメンテナンスや薬剤、材料の在庫チェックや毎日行わない清掃を定期的におこなっておくことです。前述した通りKaVoのユニットのお手入れは一言でいうと「手間がかかります」ですが、手をかけておくとトラブルが少ないと伺っています。とはいえそればかりに手を取られるわけにはいきませんし、同じ日にすべてのお手入れをすることが物理的に無理なので、週一回のチェックリストに少しずつユニットのメンテナンスを組み入れました。今では手のかかる作業というイメージがないなかでメンテナンスをしています。



メンテナンスと清掃のチェックリスト 日々の清掃に順番に取り入れ、一週間で一回り

## ■ 作業しやすい消毒室



ハンドピースの注油から滅菌は、機械の置く位置を左からクアトロケア、シーラー、ステイティムの配置にしています。すべての洗浄滅菌機器を汚染された物が右に移動していくことに滅菌されていくという行程にして、不潔と清潔の領域を分けています。

## ■ 患者さんの視点に立って

ユニットのメンテナンスは目に見えない部分が多くありますが、そこまで行き届いていることが患者さんの安心につながると思います。もう一方で目に見える部分ですが、患者さんが来院されている中でおそらく一番長い時間いらっしゃるのユニットの上です。座った時に見える視点に「汚れ」や「血液?」や「ほり」があると気分が良い訳がありません。それらが目に入るだけで「器具は大丈夫なのかな」と良からぬ疑惑を生むきっかけになります。時々ユニットに腰を掛けてみて、患者さんの視点に立って視界を広げてみるとこれまでと違ったものが見えてくるかもしれません。